

小豆島には
世界一せまい海峡

がある。このせまさを

さかてにとって、夏にはそう

めんを流し出す。海水ですが

つゆはいりません。石鹸の香りで

どうめんが いただけるのです。

この土洲海峡は、島の人々が

めまない場所、お昼になると、みんな

ハンモック片手に ニニにきます。海峡に

ハンモックをかけて、その上でお昼寝です。

読書をする人もいます。

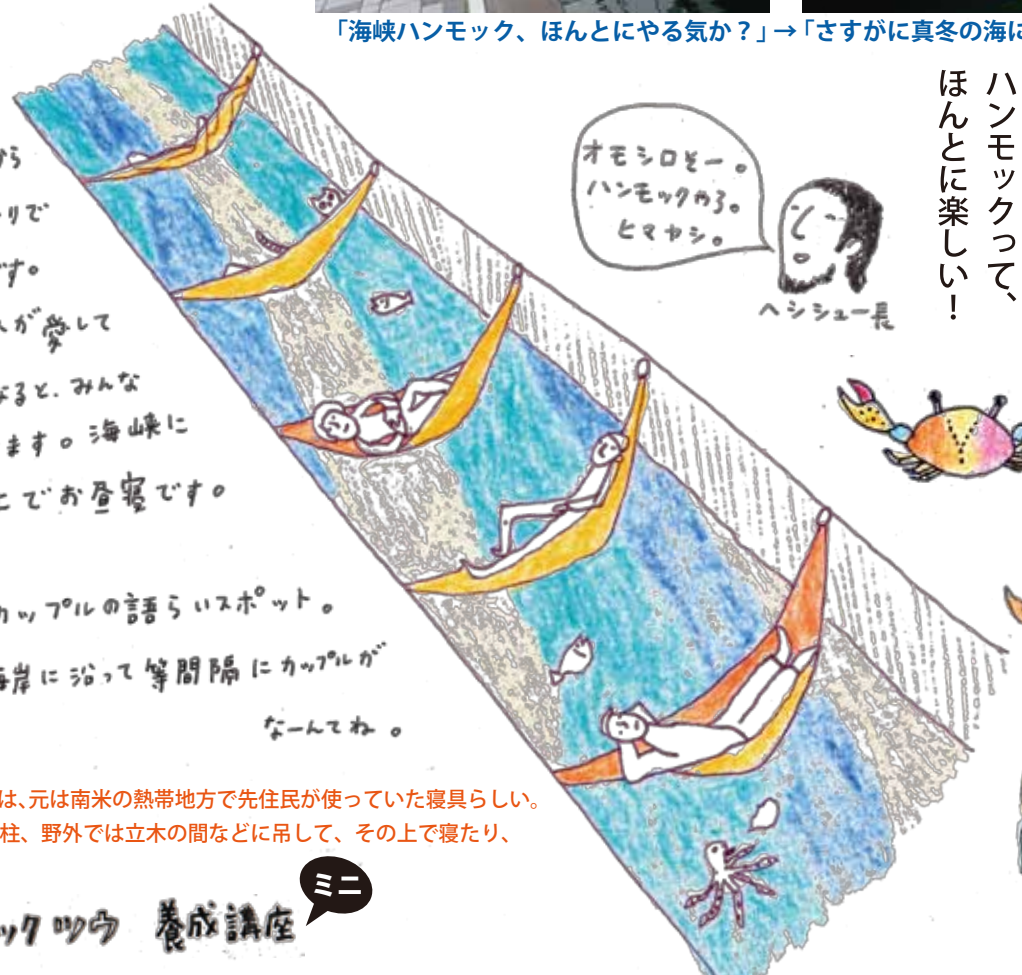
夕方から夜にかけては、カップルの語りうスポット。

京都の鴨川のように、海岸に沿って等間隔にカップルが

並ぶんですよ。



「海峡ハンモック、ほんとにやる気か？」→「さすがに真冬の海には落ちたくない模様」→「できた！大成功、めっちゃ気持ちいい」→



オモシロロー。ハンモックめろ。ヒマヤシ。



ハシシュー長



にしこくまふ

ほんとに楽しい！

今回の「うらら」新聞は「ハンモック部 結成スペシャル」
ようちちゃんの「世界一狭いギネス認定の土洲海峡にハンモックを吊るせたら」という妄想から全ては始まった。「妄想じゃなくて本当にできるでしょ」と言った編集長の冗談に誰も突っ込まず、即決でやるうやろうとワルノリする男の子たち。言い出した手前引っ込みがつかない編集長は、ザイルやカラビナまで使ってなんとか海峡ハンモックを制覇。すっかりハンモックの面白さにはまり「小豆島のハンモック部」を結成した部員たちは、小豆島のハンモックスポットの旅に出る。



「うらら」とは
小豆島介で私たち
2013年(平成25年)
4月1日発行
うらら新聞第10号

ハンモック (英: hammock 日: 釣床) は、元は南米の熱帯地方で先住民が使っていた寝具らしい。丈夫な網または布の両端を纏めて壁や柱、野外では立木の間などに吊して、その上で寝たり、くつろいだりするもの。(by Wiki)

うらら-的 ハンモックのつくり 養成講座

1. ハンモックは低めに吊ること♡けっこうバランスが微妙。居眠り中に、ぐらりと落ちて大丈夫なくらい低めが安心。
2. ロープの結び方を覚えること♡ハンモックを吊るすためのロープの結び方が大切。いっぽどけるか分からない結び方じゃあ落ち着かない。
3. そろりそろりとお尻から乗ること♡ハンモックに上手に乗るのは、なかなか難しい。そっとお尻を乗せて、ずるずると真ん中へ重心を移動させて。
4. 乗ったら体全体でバランスをとること♡背中と足を広げて体全体でハンモックに包まれるように乗ってみよう。バランスとれたら、のんびりリラックス。
5. 木には優しくすること♡ハンモックを吊るすロープをそのまま掛けると木だって痛い。木肌とロープの間にタオルを優しく一枚。

小豆島 旅行気分ハンモックポイント：勝手にハンモックしていると土地や樹の持ち主から叱られることもあるよ！！良い子はよく考えてからまねしてね



ハンモックを楽しむためのマメ知識①

安物買いの銭失いに注意
網目が粗いものはロープが食い込んで痛い。サイズが小さいものは体を伸ばすことができず窮屈。柔らかい素材で編んであって、サイズは身長+40cm以上で、横幅広めが、おすすめ。相場は1万円以上のものを買きましょう。

ハンモックを楽しむためのマメ知識②

国民の三大義務「勤労の義務」に注意
日本国民には、勤労、納税、教育の三つの義務があります。平日の昼間からハンモックに揺られていると、勤労の義務を果たしていないのではないかという疑念を持たれることがあります。おまわりさんの職質には喜んで協力しましょう。



登場人物：テツ やま ホクト ユッコ 優しいおまわりさん

文：テツ/イラスト：ぎゅうこ/写真：テツ やま ユッコ

Special Thanks：うみねこかしや(おやつ提供)